

「伊賀市若者会議」活動支援業務委託
公募型プロポーザル審査結果報告書

1. はじめに

伊賀市 IGABITO（伊賀びと）育成ビジョンに基づき、自らが地域の担い手となり、より良い“伊賀”を創る意識と実行力を持った若者（＝IGABITO（伊賀びと））を育成するため、本市が組織する「伊賀市若者会議」のメンバーの主体性の醸成や協働による地域活性化、また関係人口創出に向けた活動への支援を委託する。このことにより民間事業者のノウハウと創意工夫による効果的な事業の推進を目的とし、その提供が期待できる業務受託候補者を選定するため、公募型プロポーザル方式による審査を実施した。

2. スケジュール

2020（令和2）年1月17日（金）	第1回「伊賀市若者会議」活動支援業務委託 プロポーザル審査委員会 （以下「審査委員会」）
2020（令和2）年1月22日（水）	手続開始の公告
2020（令和2）年2月10日（月）	参加締切（3者から申請）
2020（令和2）年2月12日（水）	質問締切
2020（令和2）年2月13日（木）	第2回審査委員会
2020（令和2）年2月17日（月）	参加資格有無通知
2020（令和2）年2月19日（水）	質問回答
2020（令和2）年3月12日（木）	企画提案書等受付締切
2020（令和2）年3月18日（水）	第3回審査委員会
2020（令和2）年3月23日（月）	プレゼンテーション及びヒアリングの実施 第4回審査委員会

3. 審査委員会

（1）「伊賀市若者会議」活動支援業務委託プロポーザル審査委員会設置要綱第3条第1項に基づき、次の5名を委員とする審査委員会を設置した。

※委員長・副委員長を互選

委員長	宮崎 寿	伊賀市企画振興部長
副委員長	中矢 裕丈	伊賀市産業振興部商工労働課長
委員	東 浩一	伊賀市企画振興部地域づくり推進課長
委員	一路 勝巳	伊賀市企画振興部広聴情報課長
委員	中 映人	伊賀市教育委員会事務局教育総務課長

（2）事務局

伊賀市企画振興部総合政策課

4. 審査経過

(1) 第1回審査委員会

開催日 2020（令和2）年1月17日（金）

場 所 伊賀市役所 庁議室

欠席者 1名

概 要 ①確認事項

- ・実施スケジュール（案）について
- ・業務委託の概要について
- ・実施要領（案）について

②協議事項

- ・審査委員長及び副委員長の選任について
- ・評価基準について

(2) 第2回審査委員会

開催日 2020（令和2）年2月13日（木）

場 所 伊賀市役所 庁議室

欠席者 なし

概 要 ①確認事項

- ・応募状況及び参加資格の有無について

②協議事項

- ・評価基準書（案）及び採点表（案）について
- ・プレゼンテーション及びヒアリング審査実施要領（案）について

(3) 第3回審査委員会

開催日 2020（令和2）年3月18日（水）

場 所 伊賀市役所 庁議室

欠席者 なし

概 要 ①確認事項

- ・評価基準の確認について
- ・提案見積額（評価点）について

②協議事項

- ・企画提案書等について
- ・質問事項について
- ・プレゼンテーション及びヒアリング審査当時の流れ及び事務分担

(4) プレゼンテーション及びヒアリング審査

開催日 2020（令和2）年3月23日（月）

場 所 伊賀市役所 庁議室

概 要 ①プレゼンテーション

②ヒアリング審査

(5) 第4回審査委員会

開催日 2020（令和2）年3月23日（月）

場 所 伊賀市役所 庁議室

概 要 ①協議事項

- ・優秀者及び次点者の特定
- ・全体講評及び個別講評について

5. 審査結果

(1) 最優秀者 A：一般社団法人未来の大人応援プロジェクト

住所 三重県多気郡多気町多気32-2

(3) 評価点【得点順】

審査項目	配点	A	B	C
事業への理解度	5	4.2	3.2	4.0
業務項目	45	32.6	25.6	32.2
取組体制・遂行能力	30	21.0	16.2	20.0
加点	5	4.0	2.6	3.6
見積	15	1.0	15.0	1.0
小計	100	62.8	62.6	60.8
委員合計	500	314	313	304
減点（※）	—	—	—	—
合計	500	314	313	304
順位		最優秀者	次点者	3

全委員の平均値

※減点対象となる事象ごとに全委員の合計点から5点を減点する。

6. 審査講評

(1) 全体講評

2020（令和2）年1月22日（水）から2月10日（月）までの期間で参加募集を行ったところ3者から応募があり、すべての者から3月12日（木）の期限までに企画提案書の提出があった。

3月23日の審査では、企画提案書に基づき、1者あたり20分以内のプレゼンテーションと20分程度のヒアリング審査を実施し、総合的な評価を行った。

「事業への理解度」では、本業務実施にあたり本市のまち・ひと・しごと創生に関する現状と課題について確認した。

「業務項目」では、組織のあり方検討として、第二期の活動方針（案）を策定するために、組

織の設置目的を踏まえ、将来的な展開や目指す姿等について提案を求めるとともに、取組がより効果的・効率的に進められるよう実施体制を確認した。また運営支援として、メンバーの知見を広げるための勉強会、シビックプライドの醸成や協働による事業推進及び関係人口の創出を目的に実施する「まちづくりラウンドテーブル」、メンバーの主体性を重視し、活動の継続性や自立性を意識した地域活性化に向けたメンバーのアイデア等の実現について、提案のコンセプト及び実現に向けた手法や手順を求めた。効果検証・分析では、本事業による効果の調査、分析の手法について提案を求めた。

「取組体制・遂行能力」では、人員体制及び業務従事者の実績及びプレゼンテーションにおける資料調整力や説得力等について評価を行った。

「加点」では、本業務の遂行にあたり有益となる追加提案、また、その実現性や具現性について提案を求めた。

すべての提案者からそれぞれの得意とする分野を活かした提案が出され、審査委員からのヒアリング質疑に対しても真摯に応答し、的確な回答をいただくことができ、3者とも本業務を遂行しうる能力を有していると評価した。

審査委員会において、総合評価による最優秀者の特定に至ったが、次点者並びに非特定者の提案についても十分評価できるものであり、今後の事業展開やメンバー主体の組織運営の可能性に主眼を置いて評価を行った。

今後、伊賀市若者会議の活動を通して、一人でも多くの若者が伊賀市の良さを感じ、自らが地域活動に参加し、地域の活性化に寄与していただくために、効果的な事業が実施されることを期待したい。

(2) 個別講評

【最優秀者】

これまで培った成功事例によって得た知識と経験から提案された内容は、伊賀市若者会議の今後の展開にどのような成果を産み出すか期待したい提案であった。その反面、取組体制では、業務従事者7名で業務の全国展開を図っており、当市業務の実施体制への影響が懸念されるところであるが、主担当を2名配置することで十分なサポート体制が構築できていることを確認した。

組織が自走できる仕組みを考慮し、事業実施にあたる運営面の検討やメンバーのモチベーションの維持及び向上を図りながら組織が継続していけるよう、提案者の強みでもあるICTの活用等を通して、組織のPRやメンバー間の繋がりを強化する等工夫された提案であった。

提案者の活動方針の実現に向け、各取組の具体例が記されていることでイメージしやすい資料であることに加え、プレゼンテーション及び質疑に対する回答から本事業に対する提案者の熱意を強く感じる事ができた。

【次点者】

市内の企業や地域との繋がりが既にあり、そこを活かした活動ができるという面白さを感じた。また、取組体制では、業務従事者のキャリアコンサルタントの資格を活かした人材育成は興味深いもの

であった。

提案見積金額において他の2者と比較し大きなアドバンテージがあったが、企画提案書の内容が簡素であるためプレゼンテーションにおいて説得力に欠けるものとなった。しかし、質疑へは的確に対応いただき好印象であった。

「伊賀市若者会議」活動支援

業務委託プロポーザル審査委員会

委員長 宮崎 寿